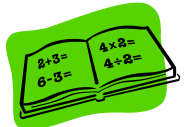


はもりあ

「はもりあ」とは造語で、女性と男性の協働という素敵な“ハーモニー”が奏でられる“中核エリア”という意味です。
2006年10月に公募で決定した男女共同参画センターの愛称です。

2017年8月発行

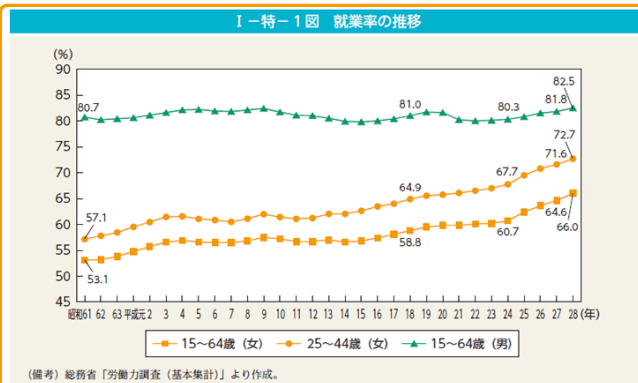
8月1日は何の日かご存知ですか？男女共同参画センター（はもりあ四日市）が設置された日、こいゆうどうくんの誕生日、水の日、洗濯機の日、パインの日・・・いろいろな記念日のようですが、四日市市の市政施行の日でもあります。しかも今年は120周年。この機会に長い歴史を振り返るとともに、未来への希望を描いてみるのはいかがでしょうか。「男女共同参画？昔はそんな言葉もあったよね。」と言えるくらい、男女共同参画が当たり前になる時代が少しでも早く訪れるよう、職員一同がんばります。



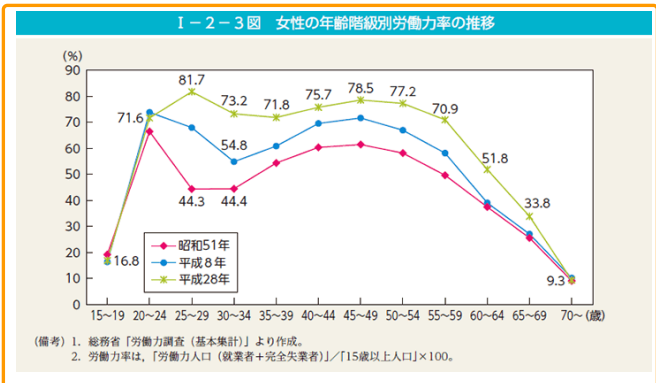
平成29年版「男女共同参画白書」が公表されました！

毎年、6月の「男女共同参画週間」に合わせて政府が発表する「男女共同参画白書」が公表されました。今年度の特集は、「女性活躍推進法による女性活躍の加速・拡大に向けて」です。平成28年4月に「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」（女性活躍推進法）が全面施行されました。これを受けて、今年の特集では、「働く女性の活躍の現状と課題」、また、国及び地方公共団体、民間企業等の「女性活躍推進法に基づいた取り組み」等が取り上げられています。

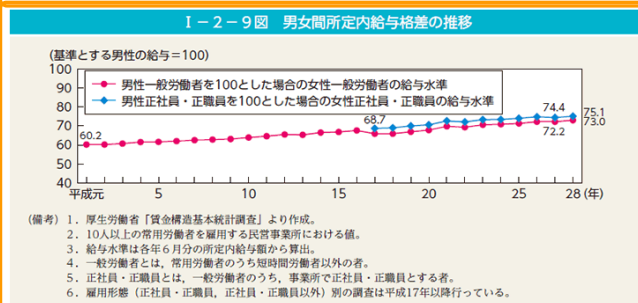
【働く女性の活躍の現状】（平成29年版男女共同参画白書より）



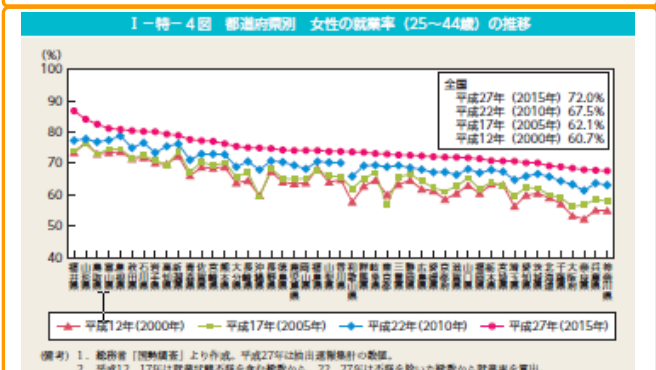
・生産年齢人口(15~64歳)の就業率は近年、男女とも上昇しているが、特に女性の上昇が著しい。



・女性の就業率を年齢階級別にみると、いわゆるM字カーブになっているが、最近30年間にM字カーブの底は大幅に上昇し、窪みが浅くなった。



・男女間の賃金格差は縮小傾向にあるものの、男性の給与水準を100としたときの女性の給与水準は73.0と格差がある。



・全ての都道府県で女性の就業率が上昇している。

ここに取り上げた「現状」はほんの一部です。男女共同参画白書を詳しくお知りになりたい方は、内閣府ホームページをご覧ください。また、はもりあ四日市でも白書を閲覧できます。

男女共同参画の課題は時代や地域によって様々です。例えば、「夫が外で働き、妻が家を守るべきだと思う」の問いに対し、「そう思う」と答えた方は三重県で33.6%、全国の31.7%より高い数値となっています。(平成27年男女共同参画局「地域における女性の活躍に関する意識調査」より。) このように、地域によって特徴が異なりますので、四日市市も地域の特徴を考慮した取り組みを行っていきます。

三重県内男女共同参画連携映画祭 「これが私の人生設計」を上映しました！

6月24日（土）、三重県内男女共同参画連携映画祭の一環として、「これが私の人生設計」を上映しました。

この映画は、男性社会という意識が根強く残るイタリアの建築業界を舞台に、女性の建築家として壁にぶつかりながらも、前向きに自分らしい生き方を模索する主人公の生き様を描いた作品です。また、この映画には、性的マイノリティ（LGBT）の観点も描かれていて、性の多様性・個人の尊重についても考えていただけたと思います。



【映画チラシ】



【人でいっぱい会場】

参加者からは、「知らず知らずのうちに持っている固定観念について考えさせられた」、「主人公の生き方が参考になった」などといった声をいただきました。今後もより多くの方に男女共同参画の意識を持っていただけるよう、様々な取り組みを行っていきます。お楽しみに！

さんかくカレッジ2017男性料理教室 『パパちからUP!新米パパの離乳食教室』を開催しました！

7月1日（土）と8日（土）に、新米パパ向けの離乳食教室を開催しました。子どもの月齢に合わせ、5カ月～8カ月児向けコースと9カ月～12カ月児向けコースと2つに分け、それぞれの月齢に合わせた離乳食を作りました。参加者アンケートでは「離乳食を食べさせることはあっても作ることがなかったので、良い機会になった」「月齢によって、気をつける食材や食べさせ方など知れてよかった」「一度でも離乳食を作る機会があれば家でもつくりやすい」といった声をいただき好評でした。

しかし、参加したほとんどのパパが普段から家事、育児を十分、または、まあまあしているとしながらも、家事、育児に参画するうえで困難なこととして、帰る時間が遅いといった仕事との両立をあげる方がほとんどでした。

すぐに解決できる課題ではありませんが、それぞれの家庭にあったやり方で、これからも積極的に家事や育児に関わっていただきたいと思います。

【出来上がり】



【実習風景】



（5～8カ月児コース）



（9～12カ月児コース）

防災・減災女性セミナー 大切な人を助ける避難所づくり ～女性の視点を取り入れて～ を開催しました！

7月8日（土）、四日市市自治会連合会と四日市市地区防災組織連絡協議会、四日市市が協働で、女性の視点を取り入れた避難所運営訓練を実施しました。

この訓練は、段ボールベッドや簡易トイレなどの資材を用いて、地域で防災に取り組む女性に避難所づくりを実践して知識などを学んでもらうことを目的に、市として初めて行いました。

当日は、浅野幸子さん（減災と男女共同参画研修推進センター共同代表）と、河田のどかさん（特定非営利活動法人さくらねっと）の講演後、2グループに分かれ、レイアウトの検討や段ボールベッドの組立て（避難所レイアウト班）、簡易トイレの組立てや衛生対策方法の検討（トイレ・衛生対策班）等を行いました。

過去の大震災の経験から、避難所運営に女性の視点が反映されることは必要です。今後もこのような取り組みが広がっていくように、一層の連携を図っていききたいと思います。



【会場の様子】



【レイアウト検討】

ワン 1 ツー 2

四日市市男女共同参画センター “はもりあ四日市”
平成29年度 女性のための自己尊重講座

募集中

相談室から

“スリー” 3ステップで、私を大切にできる私になる!

あなたの思いや気持ち、言葉で表現できていますか?
人とうまくやるため言わない、ということ優先していませんか?
私の思いや気持ちを言葉で表現することは、
私を大切にすることなのです。



昨年の講座に、
参加された方の
声です。

- ★毎回、たくさんの気づきがあり、講師の言葉にすごく癒された。
- ★共感・学ぶこと・気づくことや、一歩自分が進む意欲が沸いた。
- ★ワークがあり楽しく、ためになった。
- ★自分の気持ちを表現できるようになれそうです。

1ステップ

9月30日(土)13:30~15:30

「私は何を考えているのだろう ~自分自身を知る~」

2ステップ

10月7日(土)13:30~15:30

「うまく言葉にできない ~自己表現してみる~」

3ステップ

10月14日(土)13:30~15:30

「自分らしく生きたい
~自分も他者も大切にできる生き方を学ぶ~」



講師 石田ユミさん

(フェミニストカウンセラー・臨床心理士)

- 場所: 本町プラザ5階 第3会議室
- 対象: 全3回参加できる市内在住・通勤・通学の女性
はじめて受講される方を優先します。
- 定員: 30人 定員になり次第〆切
- 参加費: 無料
- 託児: 有 (6カ月から小学校3年生程度まで) 無料・先着10人程度 9月5日(火)までにお申し込みください。
- 申込: 住所・名前・電話番号・託児の有無 (託児希望の場合はお子さんの名前と年齢) を、電話かFAXまたはメールで「はもりあ四日市」へ

今月のキーワード

5.2%

この数字は、平成29年4月1日を基準とした、本市の自治会長に占める女性の割合を表しています。

昨年度を見ると、三重県全体の女性の自治会長の割合が3.7%であるのに対し、本市では4.4%とやや高く、また、今年度はさらに0.8ポイント上昇し5.2%となりましたが、まだまだ女性の自治会長は少ない状況です。

自治会の活動では、多様な人々の意見が反映されることが大切で、女性がそのあり方を決定する場(例えば組長会など)に参画することで、改善すべきことがわかる場合もあります。実際に、ある地区では、自治会長が男性から女性に代わったことで、それまで自治会長に集中していた業務を役員等に分担することで、より円滑に自治会活動を行えたそうです。

自治会はもちろん、あらゆる場で同数に近い男女が関わり、それぞれが個性と能力を十分に発揮できるよう、市でも関係機関と協力しながら、取り組みを進めていきます。

男女共同

さんかくeye

このコーナーでは、はもりあ四日市のスタッフが、本を読んだり、映画を観たり、お話を聞いたり、また、日々の生活の場面で感じたことを綴っていきます。もちろん、『男女共同参画』の視点★を通してね。

職場が異動になり早4か月、今の私の仕事の一つに文化財の保護や普及啓発がありますが、皆さんは、四日市の文化財というと何が思い浮かびますか? 市内各所に、様々な文化財が保存され、また、遺跡が点在しています。夏に向けて、あちこちの地域で「まつり」が開催されますが、今回は、富田の「鳥出神社の鯨船行事」を紹介します。例祭への奉納行事で、毎年8月14日と15日に開催されます。4艘の鯨船があり、唄や太鼓に合わせて、逃げる鯨との攻防がストーリー性をもって繰り広げられます。国指定の重要無形民俗文化財になっていますが、昨年12月に、全国33の「山・鉾・屋台行事」の一つとして「ユネスコ無形文化遺産」に登録されました。世界に誇れる四日市の文化財ですが、まだまだ知らない人が多いのではないのでしょうか。荒っぽい祭りでもあり、元々は男性のみの参加でしたが、今は女性が参加するところもあるそうです。15日には、神社の境内で4艘が順番に本練りを行います。詳しくは、市のHPでも紹介していますので、一度訪れてみてはいかがでしょうか。【元はもりあ職員:H】

《さんかくカレッジ2017市民企画講座が始まります》

はもりあ四日市登録グループの企画・運営による「さんかくカレッジ 2017 市民企画講座」を、今年も開催します。

今年の市民企画講座は4つです。募集等詳細につきましては、順次、広報よっかいち・情報紙「はもりあ」・HP等でご案内いたします。ぜひご参加ください。

《シニアサークル「男の囲炉裏端」の会》企画

『じいの出番だ！まかせとき！』



定年後の男性はその8割が家に閉じこもると言われています。口べたで内気な男性は社会参画がどうも苦手なようです。そんな、定年後の時間を孫育てに！！楽しい遊びや料理、絵本の読み聞かせなど孫育ての技を身につけませんか？

10月開講予定 3回連続講座

《NPO法人 四日市男女共同参画研究所》企画

『家事労働』

介護・子育て・女性の貧困・女性の政治参画・女性の労働・生き方・女性と防災などをテーマに活動を続ける中で、男女共同参画社会の実現には「家事労働」がネックになっていることがわかりました。男女共同参画の視点で話し合い、学習し、多くの方に「家事労働」について考える機会を作ります。

10月開講予定 3回連続講座

《NPO法人 ワークスタイル・デザイン》企画

『再就職を迷う女性のための人生設計』 ～私のストーリー&交流会～

育児、介護、夫の転勤、病気などの理由で、離職する女性が多いのが現状。どんなライフステージからでも、やりたいことを諦めずに一步を踏みだすことを促すために、これからの自分の人生設計をつくり、再就職につなげる場を提供します。

11月開講予定 3回連続講座

《NPO法人 体験ひろば☆子どもスペース四日市》企画

『子どもも自分もどっちも大事！ 子育て力を内側からアップする講座』

エンパワメント(よりよく生きようとする力)は自分自身の中にあることや、自分の命の誕生について学ぶことにより、親の自己肯定観を高め、子どもの自らの育つ力を信じられるようになることを目指しましょう。



2月開講予定 3回連続講座



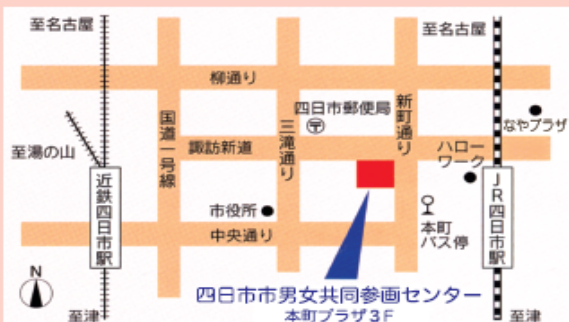
《はもりあ四日市からのお知らせ》



最近、忘れ物や落し物が増えています。水筒や折りたたみ傘、ハンカチ、スカーフ等お預かりしております。お心当たりの方は、ぜひお問い合わせください。お引き取りのないものに関しましては、勝手ながら9月末をもって処分させていただきます。なにとぞご了承くださいませよう、よろしくお願いいたします。

◎◎◎あとかき◎◎◎

8月と言えば、夏休み、お盆・帰省、海・プール、夏祭り、花火大会などが連想されます。夏休みの行動は、計画通り進んでいますか。熱中症に気をつけて、それぞれの夏を満喫していただければと思いますが、「早く夏休みが終わって学校が始まってほしい」、「夏休み中は、混雑や渋滞がなく通勤が楽だ」など、思いはいろいろですね。



四日市市男女共同参画センター（はもりあ四日市）

〒510-0093 四日市市本町 9-8 本町プラザ 3F

TEL.059-354-8331 FAX.059-354-8339

●開館時間 AM9:00~PM9:00

●休館日 日曜日、月曜日、祝日、年末年始

Eメール kyoudousankaku@city.yokkaichi.mie.jp

http://www.city.yokkaichi.mie.jp/danjo/index.shtml